

世界の犯罪事情

殺人事件の発生率はアメリカが非常に高く、治安が悪くなったといわれる日本だが先進国のなかでは安全だ

アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、日本の殺人事件発生率と検挙率を表した統計がある。

アメリカの殺人事件発生率が5.6と最も高かった。個人の銃の所持が認められていることが、この数字に影響しているのかもしれない。

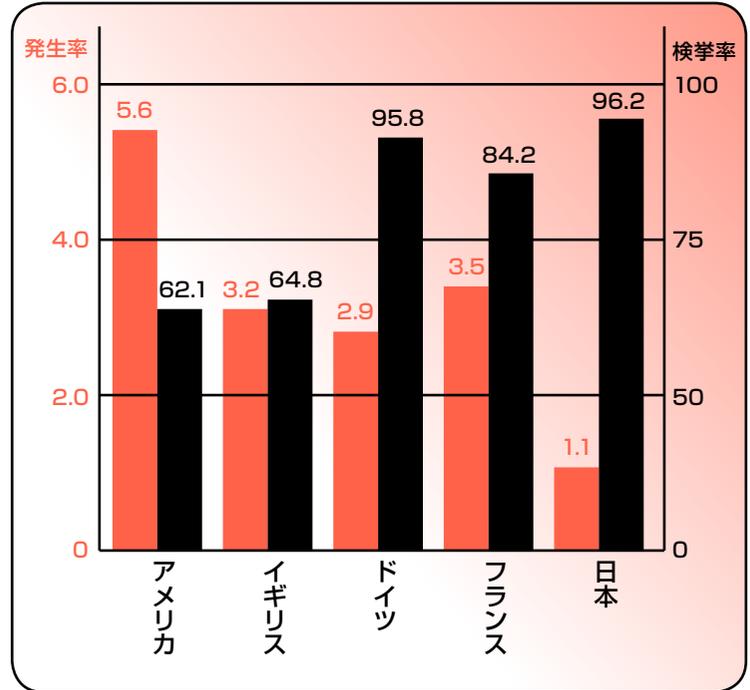
一方、**日本**の殺人事件の発生率は1.1と低く、アメリカの5分の1の数値になっている。イギリス、ドイツ、フランスの発生率は近く、3前後の数値だった。

検挙率を見ると、**日本とドイツ**の数値が高い。日本は殺人事件が起きたら、高確率で検挙に至り、ドイツも日本より多く起きる殺人事件の犯人を、徹底的に検挙している様子がこの数値からわかる。

逆に、アメリカは発生率が高く、検挙率も62.1とイギリスと並んで低い。多発する殺人事件に犯人検挙が追いついていないようだ。

イギリスもアメリカほど殺人事件は起きていないが、その割に検挙率が低い。同程度の発生率のドイツやフランスの検挙率が高いことを考えると、イギリスの警察の問題か、殺人犯の用意周到さの影響か、この数字の低さは気になるところ。

おもな国の殺人事件 発生率と検挙率(2006年)



※発生率は人口10万人あたりの犯罪認知件数

(((((((((((**知ったかぶり度チェックテスト**))))))))))

Q1 次のうち殺人事件発生率が最も高い国は？

①イギリス ②アメリカ ③フランス

Q2 次のうち検挙率が最も高い国は？

①日本 ②イギリス ③アメリカ

日本とアジア

中国との貿易額が急増している。台湾からは集積回路、タイは魚介類、ベトナムは履き物の輸入が特徴的

アジアで日本との貿易額が急増したのは**中国**だ。1990年代まで日中貿易の総額は日米貿易に遠くおよばなかったが、2000年代に入ると急激に日中貿易の総額が増え、2008年現在、日米貿易の総額を日中貿易は上回っている。

2008年の中国との輸出入関係は、輸出総額が約13兆円で、輸入総額は約14.8兆円となっている。日本の輸入が2兆円近く上回っている状況だ。

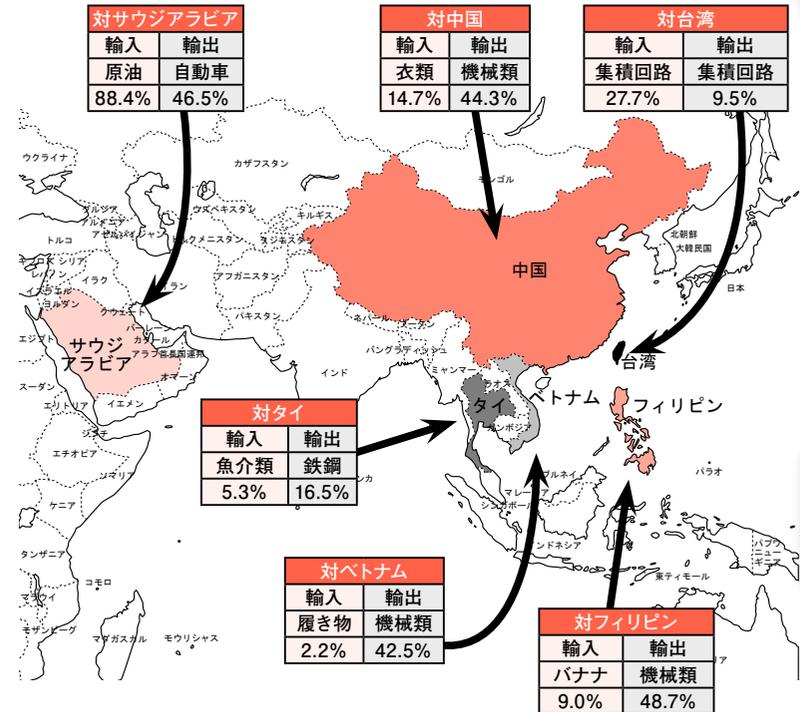
具体的な品目を見ると、輸入品で特徴的なのは**衣類**で、日本のユニクロなど、衣料ブランドの製造工場が中国にある影響が見て取れる。輸出品目では、機械類が多くをしめ、日本の主要輸出品である**自動車は3.3%に留まっている**。

その他のアジアの国との貿易を見てみよう。

日本が機械類を輸入しているのは**台湾**で、集積回路やコンピュータ部品などの輸入が多い。また**原油は中東**から輸入し、サウジアラビアとの貿易では輸入品の88%が原油だった。

タイからは魚介類を輸入し、日本の食卓に出回るエビにはタイ産のものも多い。ベトナムでは履き物の輸入が多いが、これはアメリカのスポーツシューズメーカーがベトナムに工場を設けている影響が大きいと考えられる。

主要国とのおもな貿易で特徴的な品目(2008年)



(((((((((((**知ったかぶり度チェックテスト**))))))))))

Q1 次のうちタイからの日本の輸入で多いものは？

- ①綿花 ②魚介類 ③ボーキサイト

Q2 次のうち中国からの日本の輸入で多いものは？

- ①衣類 ②自動車 ③原油